



2022年6月14日

株式会社 阿波銀行

有限会社南海紙業社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社南海紙業社（代表取締役 小濱 信夫、本社：徳島県美馬郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	有限会社南海紙業社
所在地	徳島県美馬郡つるぎ町半田字小野 251 番地の 2
代表者	小濱 信夫
業種	各種印刷業
設立	1952 年 3 月 1 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の 3 側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年6月14日



有限会社 南海紙業社 代表取締役 小濱 信夫

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境・経済	グリーン購入	環境負荷の小さい原材料の購入や3Rの推進に努めます。	①再生可能エネルギーの導入や再エネ電力利用の推進	8 働きがいも経済成長も 13 気候変動に具体的な対策を
			②(1)2026年度までにバイオマス発電機を導入 (2)2030年度までに自社の電気利用量30%削減（2026年度比）	12 つくる責任 つかう責任
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現のため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します。	①環境配慮型製品の導入・利用推進	8 働きがいも経済成長も 14 海の豊かさを守ろう
			②2028年度までに全自動・削減型生ゴミ処理機を導入。 2030年度までに自社の生ゴミ排出量70%削減（2028年度比）	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう
社会	汚職・贈収賄行為の禁止	従業員全員が、汚職・贈収賄行為について理解をし、厳格に該当する行為を防止・禁止します	①ポスターや社内報による普及啓発活動	8 働きがいも経済成長も
			②2030年度までに普及啓発活動を16件実施	16 平和と公正をすべての人に
環境	水の効率的な利用、水の汚染の防止	限りある水資源へ持続的にアクセスできるように、水資源の効率的な利用や、水源となる森林の保護活動を推進します	①節水・中水利用の推進	6 安全な水とトイレを世界中に
			②(1)2028年度までに社内の水をセラミック水に変換（殺菌力のある燃焼合成セラミックを導入） (2)2030年度までに自社の水の効率的な利用70%以上（2028年度比）	14 海の豊かさを守ろう



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。